

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	関西国際空港第1ターミナルビル	階数	地上4F、地下1F
建設地	大阪府泉佐野市泉州空港北	構造	SRC造
用途地域	都市計画区域、市街化区域	平均居住人員	30,000,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集会所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2020年10月25日
敷地面積	455,898 m ²	作成者	株式会社日建設計 本田聡一郎
建築面積	123,227 m ²	確認日	2020年10月25日
延床面積	17,492 m ²	確認者	株式会社日建設計 本田聡一郎



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.0</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.7</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.0</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.8</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.6</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.8</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>西日本の国際的な玄関口として多くの利用者に利用されている。今後予想される国際線旅客数増加に対応するため全面的なリノベーションを行う。地域の文化的なシンボルとなっている外観は良好な景観形成に貢献している。また環境負荷低減を目指し非再生資源の使用量を削減した計画とする。</p>	<p>その他</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>室内環境向上に努める。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>利用者の心理的快適性を向上させる内装計画を目指した。設備配管・ダクトには耐用年数の長いものを採用し建物の耐用性向上を目指す。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>第15回 大阪まちなみ賞において最高賞となる大阪府知事賞を受賞しており、文化的なシンボルとして地域の良好な景観形成に貢献している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>自然エネルギーを直接利用する外気冷房システムを導入するとエネルギー消費量を削減に配慮する。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>排水を水処理施設で浄化し雑排水として再利用することで水資源保護に努める。またリサイクル材を採用することで再利用可能性を向上させ、環境負荷低減にも努める。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>施設内で発生した廃棄物は分別回収し廃棄物処理施設でリサイクルすることで地域インフラへの負抑制に寄与する。また光害対策ガイドラインの過半以上を満たし光害抑制に配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0095

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	関西国際空港第1ターミナルビル リノベーション工事						
	建設地	大阪府泉佐野市泉州空港北1番外						
	用途/区分	集会所 工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						4	
④	エネルギー削減						2	
⑤	自然エネルギー直接利用						○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.8	4	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				2.0	2	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				4.0	○	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							